



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年1月31日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4551 URL <http://www.torii.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 松尾 紀彦
 問合せ先責任者（役職名） 経理部長（氏名） 千葉 昌 TEL (03) 3231-6811
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年3月期第3四半期の業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	40,527	7.7	3,159	△19.1	3,312	△18.4	1,892	△23.7
24年3月期第3四半期	37,633	9.2	3,903	△19.2	4,059	△18.7	2,479	△13.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	66 87	—
24年3月期第3四半期	87 62	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	90,965	76,576	84.2
24年3月期	87,734	75,832	86.4

（参考） 自己資本 25年3月期第3四半期 76,576百万円 24年3月期 75,832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	20 00	—	20 00	40 00
25年3月期	—	20 00	—		
25年3月期（予想）				20 00	40 00

（注） 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,600	8.0	2,500	△39.8	2,700	△37.8	1,500	△42.6	53 00

（注） 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2013年3月期第3四半期決算 参考資料」に記載しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却の方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料の3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期3Q	28,800,000株	24年3月期	28,800,000株
25年3月期3Q	499,059株	24年3月期	498,701株
25年3月期3Q	28,301,172株	24年3月期3Q	28,301,637株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。（かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。）

◇ 薬事法その他の法令または規制の変化

◇ 薬価の改定

◇ 副作用の発現

◇ 研究開発の遅延または中止

◇ 製商品の供給停止

◇ 訴訟の提起

業績予想については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 研究開発活動	2
(4) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
【第3四半期累計期間】	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の売上高は、平成24年4月に実施された薬価改定の影響を受ける中、40,527百万円と前年同期に比べ2,893百万円(7.7%)増加しました。

主要な製品・商品の販売状況につきましては、「レミッチカプセル(血液透析患者における経口そう痒症改善剤)」は9,303百万円と前年同期に比べ1,942百万円(26.4%)増加したほか、「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」は8,844百万円と前年同期に比べ1,329百万円(17.7%)増加しました。

費用面におきましては、売上原価は17,571百万円と前年同期に比べ1,960百万円(12.6%)増加し、販売費及び一般管理費は研究開発費が増加したこと等により19,795百万円と前年同期に比べ1,677百万円(9.3%)増加しました。

以上の結果、営業利益は3,159百万円と前年同期に比べ744百万円(19.1%)減少し、経常利益は3,312百万円と前年同期に比べ746百万円(18.4%)減少しました。四半期純利益につきましては1,892百万円と前年同期に比べ587百万円(23.7%)減少しました。

なお、平成24年8月28日に、日本たばこ産業株式会社(以下「JT」)から日本国内における独占的販売権を取得した抗HIV薬「JTK-303(エルビテグラビル)を含む配合錠」につきましては、JTが平成24年12月6日に日本国内における製造販売承認申請を行っております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は、90,965百万円と前事業年度末に比べ3,230百万円(3.7%)増加しました。これは、現金及び預金が4,428百万円減少しましたが、投資その他の資産に含まれる長期前払費用が3,291百万円、有価証券が3,106百万円、受取手形及び売掛金が1,877百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、14,388百万円と前事業年度末に比べ2,486百万円(20.9%)増加しました。これは、賞与引当金が571百万円、未払法人税等が551百万円減少しましたが、流動負債のその他に含まれる未払金が2,195百万円、買掛金が1,206百万円増加したこと等によるものです。

純資産につきましては、76,576百万円と前事業年度末に比べ744百万円(1.0%)増加しました。これは、主に利益剰余金が760百万円増加したことによるものです。

(3) 研究開発活動

当第3四半期累計期間の研究開発費の総額は5,838百万円であります。

なお、スギ花粉症に対する舌下免疫(減感作)療法薬「T0-194SL」につきましては、平成24年12月25日に日本国内における製造販売承認申請を行っております。

また、JTと共同で開発を進めてきた高リン血症治療薬「JTT-751」につきましては、本年1月7日にJTが日本国内における製造販売承認申請を行っております。

(4) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、前回発表(平成24年10月29日「平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」)の予想数値を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位: 百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,106	20,678
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	6,276	5,975
受取手形及び売掛金	19,580	21,457
有価証券	11,200	14,306
商品及び製品	4,271	3,708
仕掛品	440	438
原材料及び貯蔵品	1,631	1,819
その他	1,846	1,997
流動資産合計	70,352	70,382
固定資産		
有形固定資産	5,297	5,791
無形固定資産	704	657
投資その他の資産	11,380	14,133
固定資産合計	17,382	20,582
資産合計	87,734	90,965
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,717	5,924
未払法人税等	1,706	1,155
賞与引当金	1,156	585
役員賞与引当金	59	39
返品調整引当金	2	0
その他	3,588	5,989
流動負債合計	11,231	13,695
固定負債		
退職給付引当金	161	115
その他	509	577
固定負債合計	670	692
負債合計	11,902	14,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,416	6,416
利益剰余金	64,876	65,636
自己株式	△857	△858
株主資本合計	75,624	76,384
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	208	192
評価・換算差額等合計	208	192
純資産合計	75,832	76,576
負債純資産合計	87,734	90,965

(2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位: 百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	37,633	40,527
売上原価	15,611	17,571
売上総利益	22,022	22,955
販売費及び一般管理費		
販売促進費	3,093	2,777
給料及び手当	4,422	4,501
賞与引当金繰入額	481	486
研究開発費	3,580	5,838
その他	6,540	6,191
販売費及び一般管理費合計	18,118	19,795
営業利益	3,903	3,159
営業外収益		
受取利息	87	84
受取配当金	21	63
為替差益	10	—
その他	37	26
営業外収益合計	157	174
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	—	16
その他	1	4
営業外費用合計	2	21
経常利益	4,059	3,312
特別利益		
投資有価証券売却益	14	—
受取保険金	1	—
受取返戻金	784	—
特別利益合計	800	—
特別損失		
固定資産除却損	4	21
投資有価証券売却損	23	—
ゴルフ会員権評価損	—	6
災害による損失	63	—
特別損失合計	91	27
税引前四半期純利益	4,768	3,285
法人税等	2,288	1,392
四半期純利益	2,479	1,892

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期会計期間(自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。